

除雪ボランティア「スコープ」
受け入れに関するQ&A（よくある質問）

令和8年3月

Q1 「計画的派遣」と「緊急的派遣」の違いは何ですか？

A1

○「計画的派遣」

あらかじめ活動場所、日程等を決めてボランティアメンバーを派遣しています。

実際の活動は1月中旬から3月下旬までを予定としていますが、概ね12月上旬に、県と受入を調整できる窓口（以下、受入調整窓口）との間で、活動場所、日程等を設定し、HPやメール等でボランティアメンバーにお知らせしています。

なお、実際の参加者の募集は、活動日のおよそ2～3週間前から県がボランティアメンバーにメールで一斉連絡し、参加の申込受付等を各受入調整窓口で行っていただいています。

○「緊急派遣」

市町村などからの緊急要請によりボランティアメンバーを派遣しています。豪雪時の対処手段のひとつとして緊急派遣についてのみ登録している地区もあります。

※これまでの緊急派遣は、募集からボランティア活動当日まで1週間程度かかることが多いため、ある程度積雪が多くなる時期に合わせ、「計画的派遣」を設定しておく方が受け入れの準備なども行いやすいと思われます。

Q2 除雪で困っている高齢者宅があるので受け入れを検討したいが、具体的に何から始めれば良いのでしょうか？

A2

まず、受入を調整できる窓口（受入調整窓口）と調整の主担当を決めてください。

受入調整窓口は、市町村、社協、集落、協議会、委員会、NPOなど、団体の種類を問いません。

なお、受け入れてみたいが、受入調整窓口を設定することが難しい、どうしたら良いか分からない等の場合は、県地域政策課までご相談ください。

【参考】R7年度に受入を計画した4市町の「受入調整窓口」は、次のとおりです。

長岡市・・・フレンドシップ木沢

魚沼市・・・NPO 法人風小僧

糸魚川市・・・上南地区地域づくり協議会

津南町・・・三箇地区都会との交流を進める会

Q 3 受入調整窓口は何をしなくてはいけないのでしょうか？

A 3

(1) 受入調整窓口には必ず行っていただくこと

- ・除雪ボランティアが必要な世帯等の把握と選定、受入人数の検討 ※Q10、11 参照
- ・県と活動日等の調整 ※Q4フロー参照
- ・参加者の取りまとめ ※Q4フロー参照
- ・活動当日の班分けや誘導、除雪指導の担当など役割分担の検討 ※Q5参照
- ・除雪道具の用意（調達方法の検討） ※Q9参照
- ・宿泊の手配、準備（もちろん日帰りでも大歓迎です。） ※Q6、7参照

(2) 受入調整窓口を検討いただくこと（必須ではありません。）

- ・交流会の開催 ※Q8参照
- ・集合場所と除雪する場所が離れている場合にマイクロバスなどの手配

(3) 県が行うこと（参考）

- ・受入調整窓口と活動日等の調整 ※Q4フロー参照
- ・ボランティア募集案内を活動日のおよそ2～3週間前に一斉メールで通知
※Q4フロー参照

Q 4 受入調整窓口の活動日までのスケジュールを教えてください。

A 4

活動日までをお願いしたいことやスケジュールは以下のとおりです。

【12月上旬まで】

- ・活動日等を県と相談、決定します。（計画的派遣）



【活動日の3週間前まで】

- ・ボランティアの集合場所、移動手段、宿泊等について受入地域内で検討します。
- ・降雪状況などに応じ、受入可能か判断し県に連絡します。



【活動日の3週間前～直前まで】

- ・県の募集開始後、ボランティア参加者の申し込みを受け付けます。



【活動日の1週間前まで】

- ・当日どこの高齢者宅周りにボランティアを向かわせるか、地域で話し合い決定します。
- ・班分けや誘導、除雪指導の担当など役割分担を決めます。

活動日は1月中旬から3月下旬までを予定しており、活動日のおよそ2～3週間前に県がボランティアメンバーに募集の一斉メールを行います。

Q5 当日はどのように迎えたら良いのでしょうか？

A5

参加者のスキルを問わず除雪方法などの指導を行ってください。また、どこの家を除雪するか、雪の捨て場所、危険な場所など、当日の案内をお願いしています。複数の班に分かれて作業を行いますので、班ごとに案内できる方がいることが望ましいです（集合場所と除雪する場所が離れていてマイクロバスなどを手配して移動している地域もあります）。

Q6 宿泊できる施設がないため、日帰りでの活動でも良いのでしょうか？

A6

はい、可能です。

Q7 1泊2日で受け入れる場合の調整はどのように行うのでしょうか？

A7

活動地域周辺の宿との宿泊受け入れや送迎等に関する各種調整と、参加者の宿泊申込・食事等の取りまとめを行ってください。

なお、宿泊先の情報は、県が活動日のおよそ2～3週間前にボランティアメンバーに募集の一斉メールを行う際に案内します。

Q8 地元とボランティアの交流会は必ず行わなければならないのでしょうか？

A8

いいえ、必須ではありません。実際に交流会を行っていない地域もあります。しかし、地元の方とボランティアの交流は、集落をより知ってもらうことにつながるものと考えます。

Q9 除雪道具はどうしていますか？

A9

基本的には、受入調整窓口で用意していただいています。使用可能な道具を持参できるボランティアは多くありません。

※多くの受入地区は市町村、社協などの除雪道具を持ち寄って用意していただいています。

Q10 除雪先の対象、選定はどう決めたらいいのでしょうか？

A10

主に高齢者世帯の家屋周りや集落共同施設等の除雪、道付け等を行っています。

※今までの受入地区は、集落アンケートや区長さんの判断等で決めているようです。

Q11 活動には何人くらい集まりますか？

A11

概ね5～15名程度を募集している地区が多いですが、満員になることも少なくありません。積雪状況や除雪対象軒数、地域の受入体制などにより、受入人数をご検討いただければと思います。

Q12 活動場所まで自力で来ることができるボランティアのみ募集することは可能ですか？（最寄り駅等からの送迎はしなくて良いか。）

A12

可能です。募集の連絡をする際、その旨を明記します。

Q13 受入側の金銭的負担はありますか？

A13

基本的にはボランティアの自己負担です。

ボランティア負担分：ボランティアの居住地から集合場所までの移動費、食事代、宿泊費等

受入地域の負担分：集合場所から除雪先までが離れている場合、移動車に係る費用

Q14 ボランティアが除雪作業中怪我をした場合どうなりますか？

A14

参加に当たっては、ボランティア保険の加入を条件にしています。

（受入調整窓口がまとめて加入手続きを行う場合や個人で保険に入ってもらうなどして対応しています。）

募集開始前に県にご相談ください。万一怪我をした場合でも、集落や除雪を行ったお宅の方が責任を問われることはありません。

Q15 除雪はどこまでやってくれますか？（屋根の雪下ろしもできるのか）

A15

高齢者宅周りの除雪を中心に、現場で案内していただく方の指示により除雪を行っています。ただし、屋根雪下ろしは以下の条件を満たす場合のみ対応することとしています。

① アンカー（命綱を屋根に固定する金具）設置家屋で、安全带（命綱）・ヘルメットをつけて実施できること

② 県や「越後雪かき道場」が実施する講習を受け中級以上の修了者であること

※屋根雪下ろしを行う場合は、募集時にその旨を明記し、屋根雪下ろし優先人数枠を設けて受付してもらっています。

Q16 ボランティアは土日でないといけないのでしょうか？

A16

いいえ、平日の開催も可能です。

Q17 参加者は除雪に慣れていますか？

A17

毎年「スコップ」に参加し、除雪に慣れているボランティアメンバーが多いですが、初めて除雪をする方もいます。なお、県では初心者向けに講習会も実施しています。

Q18 当日雪が少なかった場合どうしていますか？

A18

令和5年度は少雪のため、ボランティア募集自体を中止した地域がありました。また、雪が少ないなりに活動し、高齢者世帯等の雪処理の負担軽減に努めた地域もありました。

少雪でも外部からのボランティアを受け入れておくことは、緊急時にいざ助けが必要となった場合の備えとして有意義と考えています。

Q19 希望すれば1年に何回も来てもらえますか？

A19

はい、可能です。1月中旬から2月下旬にかけて複数回実施した地域もありました。

Q20 令和6年度の受入市町村を教えてください。

A20

4市町5地区で受け入れを行いました。

(参考) 令和6年度の受入計画

- ・長岡市（川口木沢地区）
- ・魚沼市（大栃山地区）
- ・糸魚川市（西海地区、上南地区）
- ・津南町（三箇地区）

Q21 実際に受け入れた地区からどのような感想がありましたか？

A21

- ・除雪に困っていたのでボランティアが来てくれて助かった。
- ・普段外部との交流が少ないので、ボランティアがたくさん来てくれて楽しかった。
- ・地区内のつながりも強くなった。

などの声が聞かれました。

Q22 ボランティアからはどのような感想がありましたか？

A22

- ・活動を通してその地域が好きになった。（冬以外も来てみたい！）
- ・普段あまり雪に触れることがないので雪の多さに驚いた。
- ・地元の方の感謝の言葉が何より嬉しい。

などの声が聞かれました。

～疑問点、受け入れにあたり不明の点がありましたらお気軽にお問い合わせください～